

にんじんサロン利用グループへの 説明・意見交換会に関する報告書

① 説明・意見交換会の実施にあたって

② 説明・意見交換会概要

③ 意見等及び市の考え

(参考) 説明・意見交換会における各グループとのやりとりメモ

① 説明・意見交換会の実施にあたって

審議会での意見・指摘事項等

第2回男女共同参画審議会において、泉大津市で男女共同参画を推進していくためには、行政だけでなく、地域の中の担い手によって取組を進めていくこと、また、その人材育成を行っていくことが必要であるとの意見をいただきました。

【意見・指摘事項等】

○にんじんサロンを多くの人に利用してもらうことは大事であるが、人材育成という部分でも、単ににんじんサロンの利用者で終わるのではなく、地域で活躍する人や、男女共同参画を推進する担い手となる人を育てていくといったことも行っていかなければならない。

○行政が取り組んでいくものとして、単に男女共同参画に関するセミナーなどを実施し、市民に対して学習機会を提供するというだけでなく、実際に地域などで自ら動いていける人を育てていかないとけないと思う。

地域の中の担い手と人材育成について

男女共同参画を推進する地域の中の担い手としては、自治会などの地域活動団体やNPOなど、様々な個人・団体が考えられ、行政とそれぞれの個人・団体が連携しながら取組を進めていく体制を整えていくことが重要となります。その第一歩として、男女共同参画を推進するための拠点施設であるにんじんサロンを利用するグループに、地域の中の担い手としてこれまで以上に活動していただく必要があると考えられます。

【様々な個人・団体】

自治会などの
地域活動団体

NPO

にんじんサロン
利用グループ

※行政と連携しながら取組を進めていく体制を整えていくことが重要

第一歩として、にんじんサロンを利用するグループに、地域の中の担い手としてこれまで以上に活動していただくことで、男女共同参画を推進する取組を進めていく

にんじんサロン利用グループに対する説明・意見交換会の実施

にんじんサロン利用グループに、男女共同参画を推進する地域の中の担い手として活動していただくため、各グループに対し、市の考えや取組への協力依頼などについての説明を行うとともに、それらに対する意見をいただくことを目的に、説明・意見交換会を実施しました。

② 説明・意見交換会概要

内容・実施日時

全てのにんじんサロン利用グループに対し、市より「①にんじんサロンの課題と今後の展開」、「②にんじんサロン利用グループへの要望」についての説明を行うとともに、それらに対する意見をいただくため、次の実施日時により説明・意見交換会を実施しました。

【内容】

- ① にんじんサロンの課題と今後の展開についての説明
- ② にんじんサロン利用グループへの要望についての説明
- ③ 意見交換

【実施日時】

1	12月18日(金) 午後1時～	津のいぶき
2	12月19日(土) 午前10時～	輪をひろげる会
3	12月19日(土) 午後2時～	オカリナキャロット
4	12月24日(木) 午後12時30分～	おもしろ川柳
5	12月26日(土) 午前9時30分～	色紙絵クラブ
6	1月8日(金) 午前10時～	体操クラブたんぽぽ
7	1月9日(土) 午前9時30分～	手話ダンス虹の輪
8	1月13日(水) 午前9時30分～	絵手紙 彩
9	1月13日(水) 午後1時～	アートフラワー Rose
10	1月14日(木) 午後1時30分～	コーラス ジュピター
11	1月20日(水) 午後1時30分～	エンジョイ書の会
12	1月21日(木) 午前9時30分～	絵本の会 ぽっかぽか
13	1月21日(木) 午後1時30分～	絵手紙 なないろ

※グループの構成メンバーの全員が、他のグループの構成メンバーに含まれている場合は、そのグループに対する説明・意見交換会は省略しています。



市からの説明内容

説明・意見交換会において、市からにんじんサロン利用グループに対して以下の内容の説明を行いました。

① にんじんサロンの課題と今後の展開についての説明

課題

現在市が認識している、にんじんサロンの課題は次のとおり

課題1

にんじんサロン利用者の固定化について

現在のにんじんサロンについて、平成21年ににんじんサロンをリニューアルオープンして以降、利用者の固定化がみられています。また、セミナーなどの参加者についても、普段からにんじんサロンを利用している方が多数を占めている状況となっています。

課題2

男女共同参画を推進する地域の中の担い手について

泉大津市において、男女共同参画社会を実現するためには、行政だけではなく地域の中で男女共同参画を推進する担い手が必要となります。

展開

上記の課題を踏まえた上で、進めていく今後の展開は次のとおり

展開1

男女ともに、幅広い世代の市民ににんじんサロンが利用されるようにしていく

「子育て中の女性」や「働いている男性」等にもにんじんサロンが利用されるよう、にんじんサロンの周知や実施するセミナー等への参加を呼びかけていきます。

展開2

地域の中の担い手による男女共同参画の推進を進めていく

地域の中の担い手による男女共同参画の推進を進めていきます。その第一歩として、にんじんサロン利用グループにも協力していただき、各種の取組を行っていきます。

② にんじんサロン利用グループへの要望についての説明

要望

「① にんじんサロンの課題と今後の展開」を踏まえた上で、にんじんサロン利用グループに対して行う要望は次のとおり

要望1

にんじんサロンの周知

要望2

男女共同参画を推進するための活動

要望3

男女共同参画に関する情報発信

要望1 にんじんサロンの周知

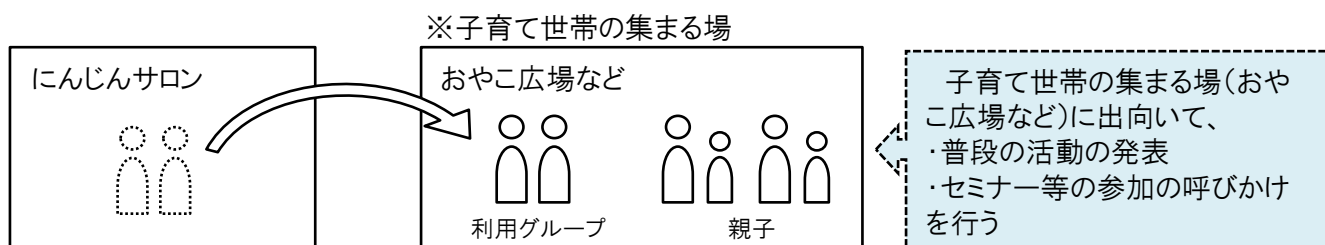
多くの市民ににんじんサロンを利用してもらうには、にんじんサロンの周知を積極的に行っていくことが重要になるため、にんじんサロンで行っている活動の紹介や、実施するセミナー等への参加の呼びかけを行っていただくことを要望。

具体的な取組(例)

にんじんサロン利用グループに対し、「要望1 にんじんサロンの周知」について、市から具体的な取組(例)として以下のとおり示した。

1 子育て世帯の集まる場などでの周知活動

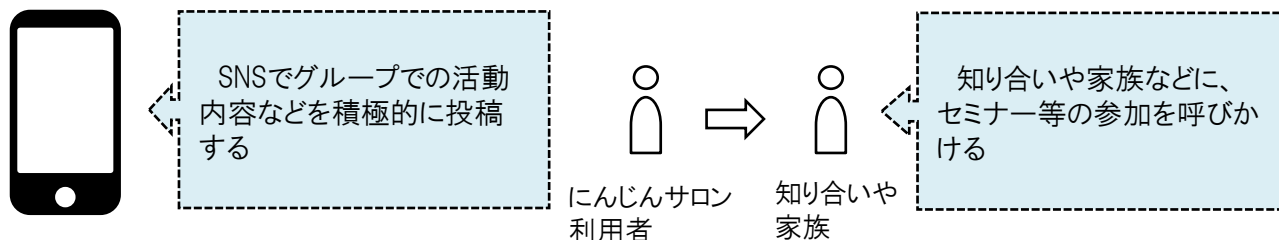
子育て世帯の集まる場に出向いて、普段の活動の発表をするとともに、にんじんサロンの周知や、実施するセミナー等への参加の呼びかけなどを行っていただく。



2 その他の周知活動

SNS(ツイッターやフェイスブックなど)を利用している場合、グループでの活動内容などを積極的に投稿していただく。

自分の知り合いや家族などに、セミナー等への参加の呼びかけを行っていただく。等



要望2 男女共同参画を推進するための活動

泉大津市の男女共同参画を推進する地域の中の担い手として、各種の活動を行っていただくことを要望。

具体的な取組(例)

必 …必ず実施していただくもの

にんじんサロン利用グループに対し、「要望2 男女共同参画を推進するための活動」について、市から具体的な取組(例)として以下のとおり示した。

3

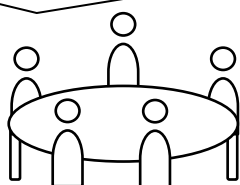
グループ内での男女共同参画に関する話し合い

必

グループ活動の中で、男女共同参画に関するテーマを決めて、グループのメンバー同士で話し合いを行う機会を定期的に設けることで、メンバーの男女共同参画に対する意識や知識等を向上させる。

テーマ:

- ・家庭での家事分担、夫婦のお互いの呼び方など、日常の中にあるジェンダーの問題について
- ・男女共同参画を推進するために普段からできること など



利用グループ

男女共同参画に関するテーマを決めて、グループのメンバー同士で話し合いをする機会を定期的に設ける
※活動の最初の30分を話し合いの時間にあてる、グループ活動のうち、年3回は話し合いの時間にする 等

4

男女共同参画に関する学習会の実施

普段のグループ活動とは別に、自ら進んで、男女共同参画に関する学習会を開催(または学習会へ参加)していただく。また、その参加を呼びかけていただく。

学習会

学習会の開催

学習会へ参加

Aグループ

参加の呼びかけ

B・Cグループ

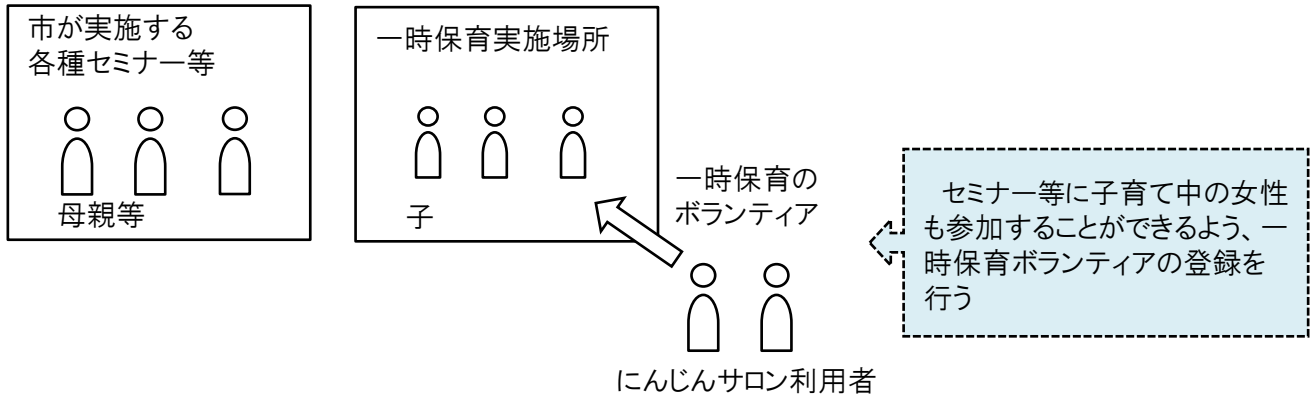
一般の市民

普段のグループ活動とは別に、男女共同参画に関する学習会を開催(または学習会へ参加)する
※グループを越えて参加を積極的に呼びかけ、自由なテーマで男女共同参画に関する考えや意見を議論する場とする

5

女性等への積極的な支援

市が実施するセミナー等において、子育て中の母親等にも参加していただくことができるよう、セミナー等の一時保育ボランティアの登録を積極的に行っていただく。また、地域の中の女性等を支援するボランティア活動などにも積極的に取り組んでいただく。

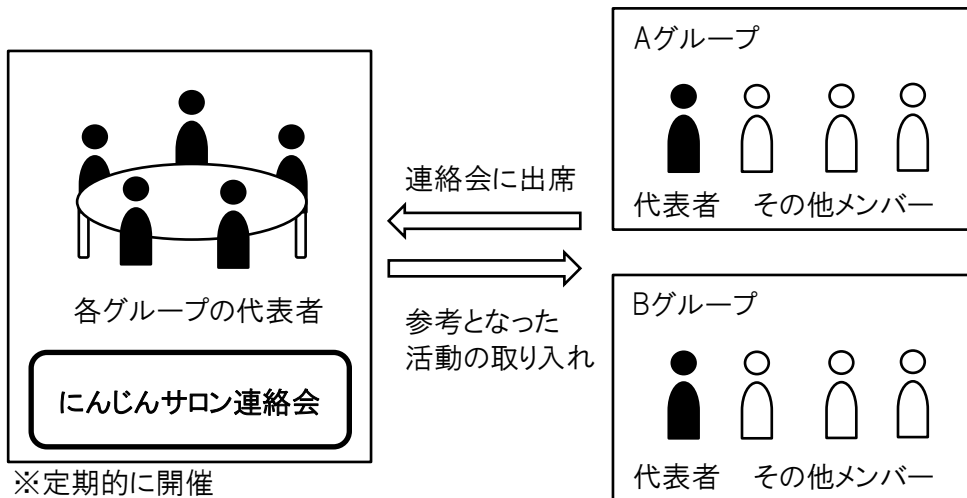


6

にんじんサロン連絡会での活動報告・意見交換等

必

にんじんサロン連絡会(各グループの代表者が集まる場として定期的で開催)に出席し、活動内容等の報告や意見交換などを行っていただく。その中で参考となった活動などについては、自分たちのグループにも積極的に取り入れていただく。



にんじんサロン連絡会において、

- ・活動内容について
- ・学習会の実施について
- ・グループ内での話し合いで出た意見について
- ・他のグループと協力して取り組みたい活動などの報告や意見交換などを行う

グループの代表者はにんじんサロン連絡会に出席する

にんじんサロン連絡会の中で、参考となった活動などがあつた場合は、グループのメンバーに紹介し、自分たちのグループにも取り入れていく

要望3 男女共同参画に関する情報発信

泉大津市の市民に対して、男女共同参画に関する意識・関心を向上させるための情報発信をしていただくことを要望。

具体的な取組(例)

必 …必ず実施していただくもの

にんじんサロン利用グループに対し、「要望3 男女共同参画に関する情報発信」について、市から具体的な取組(例)として以下のとおり示した。

7

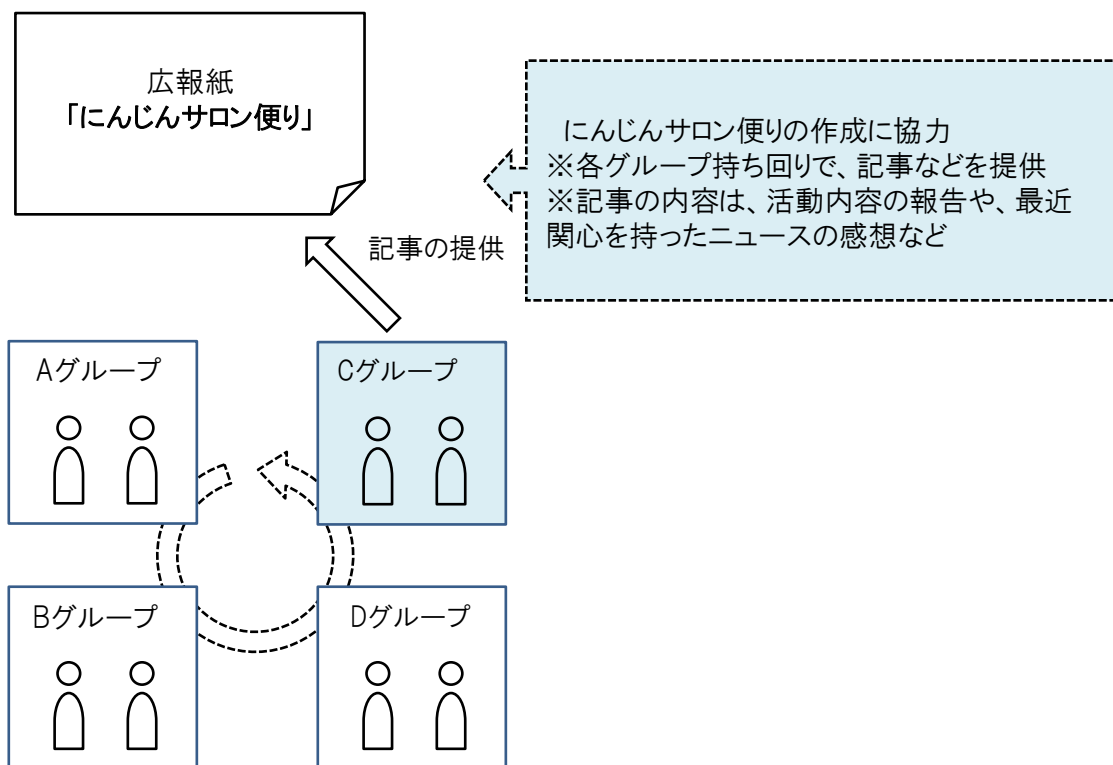
「にんじんサロン便り」作成の協力

必

泉大津の市民などに対し、男女共同参画に関する意識・関心を向上させるための情報発信として、市民等に配布する広報紙である「にんじんサロン便り」の作成に協力していただく。

※現在「にんじんサロン便り」は、にんじんサロンのスタッフのみで作成している

※各グループ持ち回りで、記事などを提供していただくことを予定。記事の内容は、活動内容の報告や、男女共同参画に関して最近関心を持ったニュースの感想などで、市民が興味を示しやすいような内容とする



※「にんじんサロン便り」への記事などの提供は、各グループで持ち回り

③ 意見等及び市の考え

市からの説明の内容などに対する意見等及び市の考えについて

説明・意見交換会において市から行った説明の内容などに対して、にんじんサロン利用グループからいただいた意見等と、それを踏まえた市の考えについては、以下のとおりとなります。

にんじんサロンの周知について

意見等

■子育て世帯の集まる場などでの周知活動について

- ①子育て世帯への聞き取り調査の結果で、若い人達がにんじんサロンがなにをしているか知らないということにショックを受けたので、もっと多くの人にここを知って欲しいといった意見がありました。
- ②子育て世帯の集まる場に出向いて行って、にんじんサロンや男女共同参画について説明をするとき、どのように伝えればよいか、マニュアルのようなものがあれば説明しやすいという意見がありました。

■その他の周知活動について

- ①にんじんサロンを周知するにあたって、口コミの効果は非常に大きいと思うとの意見がありました。また、チラシについても、直接渡すと受け取ってくれることが多いとの意見がありました。
- ②グループ活動で自分たちが作成した作品などを、市のロビー等で展示していただくことで、にんじんサロンの周知になるのではないかとの意見をいただきました。
- ③にんじんサロンは男女共同参画を推進するための施設であるが、男性の利用者が少ないので、男女共同参画を推進するためにももっと男性に利用してもらえればよいとの意見がありました。

市の考え

各グループが子育て世帯の集まる場に出向いて行って、にんじんサロンや男女共同参画について説明をする際の説明マニュアルの作成を検討します。また、各グループが活動の中で作成した作品を展示していただきたいとの要求があった場合、市のロビーなど、展示場所の提供などの協力を行います。

男女共同参画を推進するための活動について

意見等

■男女共同参画に関するグループ内での話し合いについて

①男女共同参画に関するグループ内での話し合いを各グループが行っていくことは、ずっと必要なことであると思っていたとの意見や、話し合いを行っていく中で、利用者の意識を高めていきたいとの意見をいただきました。

■男女共同参画に関する学習会の実施について

①男女共同参画に関する学習会について、既に実施していただいたこともあるグループから、今後も積極的に学習会を実施していきたいとの意見をいただきました。

■女性等への積極的な支援について

①一時保育のボランティアについては、子どもの面倒を見たいという人はいるのだが、一方で子どもを預かることに対する不安がある人もいると思うので、一時保育に関する研修等を実施していただけるなら、一時保育の協力をする人がいるのではないかとこの意見がありました。

②子どもの居場所づくりとして、市が進めている「こども食堂」にボランティア協力をしている人から、貧困の連鎖などといった問題についても、男女共同参画に関する重要な課題であると思うので、これからはにんじんサロンのみんなで取り組んでいけるとよいと思っているとの意見をいただきました。また、自分ができることとして、これからもボランティアの協力をしていきたいとの意見をいただきました。

③子どもの居場所づくりに関するセミナーを実施して、そのセミナーに参加した人が核となって、居場所づくりの取組を進めていくことができればよいのではないかとこの意見をいただきました。

■にんじんサロン連絡会について

①にんじんサロン連絡会について、にんじんサロン利用者の中には、まだ男女共同参画に対する意識が低い人もいるため、発足するには早いのではないかとこの意見がありました。一方、今がにんじんサロンが変わるときであり、にんじんサロン連絡会を発足するタイミングなのではないかとこの意見もありました。

②にんじんサロン連絡会にグループの代表者として出席するというのはプレッシャーがかかるとの意見がありました。また、代表者になるのがいやで、グループの活動をやめる人もいるとの意見もありました。

③にんじんサロン連絡会への代表者の出席について、いろいろな活動をしている人も多いので、日程を調整して出席するのが難しいとの意見がありました。

市の考え

男女共同参画を推進するための各種の活動を支援するため、活動を行うにあたってのスキルアップのためのセミナーを実施するなど、利用グループの活動がより充実していくよう協力を行います。

一時保育に関する研修や子どもの居場所づくりに関するセミナーなどを実施し、女性等への支援の取組を促進します。また、にんじんサロン連絡会等でも、市から各種ボランティアの協力を依頼していきます。

にんじんサロン連絡会について、代表として出席することは負担となるとの意見が多かったため、日程の調整や議事録の配布など、負担の軽減に努めます。

男女共同参画に関する情報発信について

意見等

■「にんじんサロン便り」作成の協力について

①「にんじんサロン便り」について、以前はにんじんサロン利用メンバーも編集に協力していたが、にんじんサロンのスタッフとスケジュールが合わず、スタッフのみで作成する今の形になったので、また協力するというのであれば、協力してくれる人もいたという意見をいただきました。

市の考え

「にんじんサロン便り」の記事提供については、レイアウトや編集作業といった事務的な作業は引き続きにんじんサロンのスタッフが行うこととともに、記事の文言等の校正や記事作成にあたってのアドバイス等、必要な協力を行います。

その他について

意見等

■利用者の意識について

①にんじんサロンを利用している人の中には、公民館と変わらないと思っている人も多いたとの意見もありました。一方、にんじんサロンは男女共同参画を推進するための拠点施設であり、公民館と違うということを利用者はしっかりと理解しなければならないとの意見もありました。

■市からの要望について

- ①市からの要望の中で、必ず実施しなければならない取り扱いになっているものについて、重く感じてしまう人もいないのではないかと意見がありました。
- ②市からの要望について、できないという人は、にんじんサロンを利用しなくなっていくと思うし、そういう時期が来たのではないかと意見がありました。
- ③これからはにんじんサロンは変わっていくということをにんじんサロンの利用者はしっかりと認識しなければならないという意見をいただきました。
- ④市がやろうとしていることは理解できるが、新しいことを始めるのは大変な部分があるし、不安もあるが、できることから少しずつやっていきたいという意見をいただきました。

■にんじんサロンについて

①男女共同参画という言葉自体は難しいが、意識してニュースや新聞を見ていると、普段から関連した話が出てくることに気が付くこと、スタッフから紹介された本をきっかけに、セミナーに出席したことなど、いろいろな考えや人々に出会うことが出来たことは、にんじんサロンで活動していたからこそだと思ふとの意見をいただきました。

市の考え

説明・意見交換会を通じて、各グループで男女共同参画に関する意識・関心の高さに違いがあることが分かりました。また、市からの要望に対して、協力的・発展的な意見を多くいただけた一方、否定的な意見や、拒否感を示すグループもありました。しかしながら、説明・意見交換会を行ったことで、にんじんサロンは男女共同参画を推進するための拠点施設であるという再認識と、市の考えなどを伝えることができたため、今後はにんじんサロン利用グループと連携し、男女共同参画を推進するための活動に取り組んでいきます。